

総合	基本目標	I 活力あるしまね
発展	政策名	2 自然が育む資源を活かした産業の振興
計画	施策名	2 県産品の販路開拓・拡大の支援
事務事業名		農林水産物の流通促進事業（県産品販路拡大事業）
<p><b>1 趣旨</b>  農林水産物の県外への販路拡大と契約的取引の拡大を図るため、生産者や生産者団体が取り組む新たな販売手法の開拓などの販売促進活動を支援する。</p>		
<p><b>2 事業内容</b></p> <p>(1) 「売れるしくみづくり・顧客との絆づくり」構築事業  消費者起点での商品づくり、商品改善等を通じて「売れるしくみづくり、顧客との絆づくり」をする意欲ある生産者等を支援</p> <p>(2) 農林水産物商談会出展支援事業（経済対策）  多様な販売チャンネルを開拓するため、専門性の高い商談会への出展を支援  ・アグリフードEXPO（東京、大阪）      ・フラワーEXPO（東京）  ・シーフードショー（東京、大阪）      ・オーガニックEXPO（東京）</p> <p>(3) しまねの農畜産物まるごと企画提案事業（経済対策）  島根県の農畜産物を組み合わせてパッケージとして売り込む取組を支援  ・協議会の設置、具体的企画案の策定  ・市場以外の実需者や新たな需要が期待できる業界への企画提案</p> <p>(4) 島根ならではのこだわり産品販路拡大事業（経済対策）  コメ、野菜、花き、果樹について、生産者・関係JA等が合意に基づいて取り組む活動を支援  ・販売戦略の構築（再構築）と販売促進活動の実践</p> <p>(5) しまねの畜産販路拡大事業（経済対策）  首都圏を中心に仲卸、小売、飲食店へのしまね和牛の認知度向上と販路拡大を支援  ・東京食肉市場における県枝肉共励会や商品説明会の開催  ・仲卸、小売、飲食店等の県内招致、商談会の開催</p> <p>(6) しまねの水産物販路拡大事業（経済対策）  首都圏を中心に卸、仲卸、小売等へのしまねの水産物の認知度向上と販路拡大を支援  ・商品説明会の開催  ・卸、仲卸、小売等の県内招致、商談会の開催</p>		
<p><b>3 事業実施主体</b></p> <p>(1)、(2)、(5)、(6) 島根県  (3)、(4) 農業団体</p>		
<p><b>4 当初予算額</b></p> <p>64,761千円</p>		

総合	基本目標	1 活力あるしまね
発展	政策名	2 自然が育む資源を活かした産業の振興
計画	施策名	2 県産品の販路開拓・拡大の支援
事務事業名		地産地消推進事業
<p><b>1 趣旨</b></p> <p>「地域で生産された農林水産物とそれを主たる原料とした加工品をその地域で消費する」ことを地産地消と定義し、地域内で地元農林水産物が円滑に流通する仕組みづくりを確立する。</p>		
<p><b>2 事業概要</b></p> <p>県産品の地域内流通を促進するため、これまでの県産品愛用運動に加えて、県内の小売店・飲食・宿泊・給食事業者等の実需者への県産品取引拡大を促進し、地元で生産された農林水産物を地元で消費する「地産地消」を推進する。</p> <p>(1) 県産品商談会の開催                  県内の生鮮品生産者や加工食品製造者等と県内実需者との商談の場を設け、県産品の県内流通を促進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○平成22年度開催実績                      期 日：平成23年3月16日                      場 所：サンレディ大田（大田市）                      出展者：出展50社(団体)</p> </div> <p>(2) 給食施設等における県産品の取扱支援                  生産者とのマッチング機会の提供、県産品活用実態の把握等により県産品の取扱拡大を支援</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○給食施設における食材使用状況調査（平成22年度実施）                      調査対象：公立学校(86)、保育施設(251)、老人福祉施設（189）、知的障害児・者施設（31）、公立病院(13)                      調査期間：2回(平成22年6月の5日間、後期:平成22年11月の5日間)                      調査内容：調査期間の献立に使用した食材の使用量                      10分類27品目に関し、地元産、県内産、国内産、輸入別の使用状況を統一的に調査</p> </div> <p>(3) しまね故郷料理店における県内産食材の取扱拡大支援                  県内産食材の使用や伝統料理の提供に積極的な飲食店・宿泊施設を「しまね故郷料理店」として認証・PRすることなどにより県産品の取扱拡大を推進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○平成14年度制度開始、認証店舗数142(H23.3末現在)                      認証数の推移(過去3年) H20:6件、H21:2件、H22:11件</p> </div> <p>(4) 「しまね・ふるさと食の日」協力店における県産品の取扱拡大を支援                  地産地消に取り組む「しまね・ふるさと食の日」協力店における、地産地消フェア等の開催を支援</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○平成14年度制度開始、協力店舗数51社146店舗(H23.3末現在)</p> </div>		
<p><b>3 事業実施主体</b></p> <p>島根県</p>		
<p><b>4 当初予算額</b></p> <p>6,911千円</p>		

総合	基本目標	I 活力あるしまね
発展	政策名	2 自然が育む資源を活かした産業の振興
計画	施策名	2 県産品の販路開拓・拡大の支援
事務事業名		しまね食品等輸出促進対策事業
<p><b>1 趣旨</b></p> <p>これまでの取り組みにより、県花である「牡丹」が台湾では「富貴の花」として珍重されているほか、ロシアでも現地人好みの花として需要が見込まれており、両国・地域における「しまね」の認知度及び県産品ブランド向上に大きく貢献している。</p> <p>一方、ロットの小さい個別企業単独の取り組みの場合、流通コストや販促コストが高止まり、新たな販路開拓の継続的な取り組みやノウハウの移転が十分に進まない傾向が見られている。</p> <p>そこで、これまで培ってきたコネクションやネットワークを最大限に活用し、輸出対象市場ごとに「貨物量の総量増大」、「コストを抑えた流通販売システムの構築」を図り、民間を中心に自主的に輸出に取り組める足腰の強い体制づくりを進めることにより、本県産業の発展を図る。</p>		
<p><b>2 事業概要</b></p> <p>I 食品輸出コンソーシアム育成パイロット事業（県：定額）</p> <p>◎食品輸出コンソーシアムの事業内容</p> <p>◆一般事業</p> <p>①啓発事業</p> <p>□海外現地情報の調査収集、提供</p> <p>□輸出ノウハウの蓄積、共有 など</p> <p>②広報事業</p> <p>□一般広報活動、現地バイヤーへ商品紹介 など</p> <p>③アドバイス事業</p> <p>□輸出プロモーターの活用</p> <p>◆プロジェクト事業</p> <p>□販売促進活動の調整、実施</p> <p>□現地見本市、物産展等へ参加</p> <p>□商談会等の実施</p> <p>II 県推進事業</p> <p>1. 連携輸出促進活動の実施（県10/10）</p> <p>◆観光部門等と連携した輸出促進活動、PR活動の実施 など</p> <p>2. 新規販路開拓調査（県10/10）</p> <p>◆ロシア等への新規販路開拓に必要な調査</p> <p>3. 海外現地アドバイザーの活用（県10/10）</p> <p>4. 産地輸出促進対策の支援（県1/2、その他1/2）</p> <p>◆実務的な展示・商談会、中長期に実施するテスト輸出</p> <p>◆販売促進イベントの開催、商品開発・パッケージの工夫</p> <p>【事業実施期間】 平成21年度～平成23年度</p>		
<p><b>3 事業実施主体</b></p> <p>県、農業団体、任意団体等</p>		
<p><b>4 当初予算額</b> 12,110千円</p>		